

単元名 いい音 見つけて

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音色など音楽の構造との関わり気付くとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った楽器の音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりすることができる。
- (3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070204_001

【教材名】 ゆかいな時計（鑑賞） 森のたんけんたい（歌唱 器楽） (P. 34～P. 37)

【準備等】 範唱CD、鑑賞CD、ウッドブロック、トライアングル、鈴、カスタネット、クラベス、小太鼓など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ゆかいな時計」を聴き、曲の気分を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ゆかいな時計」の初めの部分を聴く。 ★どんな音やリズムがきこえてくるかな <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックの名前と音を確認する。 ・ウッドブロックの音に気を付け、リズムに合わせて手を動かしながら聴く。 ○「ゆかいな時計」全体を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて手を動かしながら聴く。 ○「ゆかいな時計」を、体を動かしながら聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・トライアングルの名前と音を確認する。 ・中間部で、トライアングルが聴こえたら手を振る。 ・ウッドブロック担当とトライアングル担当の二つのチームに分かれ向かい合って座り、それぞれの音に合わせて手を動かしながら聴く。 ・一人一人自由に体を動かし、音楽が表している情景を想像する。 ・コーダに気付き、意見を出し合う。 ○「ゆかいな時計」のよいところ、面白いところを見付けて聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・よいところや面白いところ、好きなところについて、意見を出し合う。 ・座って静かに曲を味わって聴く。 <p>3～4 「森のたんけんたい」の歌詞のイメージに合った楽器を選んで演奏したり、歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「森のたんけんたい」を、曲の気分を感じ取って歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ★楽きをえらんで歌と合わせよう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。 ・歌詞を読み、登場する動物などを把握する。 ・3段目の擬音の部分を、歌い方を工夫して歌う。 ○「（楽き）のリズム」をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・手拍子で打つ。 ・手拍子を打ちながら歌う。 ○1番の歌詞に合う楽器を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「きつつきさん」「コンコンコン」のイメージに合う楽器を探す。 ・歌詞に合う楽器を試しながら探し、感じたことを友達と共有する。 ○「森のたんけんたい」の、1～3番の歌詞に合う楽器を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループをつくり、1～3番のうち1つ選び、歌詞に合う音探しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がウッドブロックを左右交互に拍にのって打ち、楽器の名前と音を確認する。 ・初めは曲名を知らせずに聴かせ、どんな様子を表しているか想像させる。 ・ウッドブロックのリズムが時々不規則になるところを取り上げ、シンコペーションに気付かせる。 <p>【共通事項】リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名を知らせてから全体を通して聴かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックが聴こえない部分は動きを止めさせることで、再びウッドブロックが現れたこと、同じ旋律が現れたことに気付かせる <p>【評】曲想と音色など音楽の構造との関わりをとらえて聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師がトライアングルをトレモロで打ち、楽器の名前と音を確認する。 ・向かい合ってそれぞれが動くことで、曲全体の形式感をつかませる。 <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3種類の生き物と、それぞれの擬音を把握できるように板書する。 ・擬音の歌い方の工夫は「ジェットコースター」「虫のこえ」と系統性をもたせる。 ・歌い方の工夫から楽器選びの活動につなげる <ul style="list-style-type: none"> ・休符を感じながら、打つリズムをしっかりととらえさせる。 ・4段目は歌パートのまねっこになっていることに気付かせる。 ・1年の、擬音を楽器で表す学習と系統性をもたせる。 ・ウッドブロック、トライアングル、鈴、カスタネット、クラベス、小太鼓などの打楽器を用意する。 <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】楽器の音色やリズムを聴き取り、歌詞に合った楽器の音色を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1番の演奏で楽器の音の出し方が特徴的だった児童を取り上げ、全体で共有させる。 ・楽器は素材ごとにまとめて置いておき、児童が選べるようにする。

- ・歌いながら演奏して，試行錯誤しながら探す。
- ・最後の部分のリズムを工夫する。

- 発表して聴き合う。
 - ・歌に合わせて打ち，感想を共有する。
- 歌詞から動物を選んで，楽器で呼びかけっこする。
 - ・3段目のリズムや，最後の小節で作ったリズムを使って呼びかけっこする。
 - ・強弱に変化をもたせる。

【共通事項】リズム

- 【評】歌詞に合った楽器の音色や，リズムを工夫する活動を通して「主体的に取り組む態度」を評価する。
- ・音色や打ち方が歌詞に合っているかに注目して聴くように伝える。
- 【評】音色に気を付けて楽器を演奏する活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】